

証券コード: 3360



第23期 中間報告  
株主通信

2014年4月1日 ▶▶▶ 2014年9月30日



SHIP HEALTHCARE

シップヘルスケアホールディングス株式会社

生命を守る人の環境づくり





代表取締役会長 (CEO)

古川 國久



代表取締役社長 (COO)

小川 宏隆

グループ理念

**SHIP**

Sincere (誠実な心) Humanity (「情」の心) Innovation (革新者の気概) PartnerSHIP (パートナーシップ精神)

グループミッション

生命を守る人の環境づくり

基本姿勢

し せい そく だつ  
**至 誠 惻 怛**

「至誠」はまごころ、「惻怛」はいたみ悲しむ心を表し、この心を兼ね備えて生きることが人間としての生きる基本姿勢であり、当社グループの基本姿勢です。

2014年Key Word

より良い会社になろう！

# 『進化』と『成長』はとまらない

## ごあいさつ

株主の皆さまにおかれましては、平素より格別のご支援を賜り厚く御礼申し上げます。

当社グループは、創業以来「医療」「保健」「福祉」「介護」の4分野に特化した企業グループとして、医療機関をはじめとするお取引先様とのパートナーシップを基本に業容を拡大してまいりました。現在は、売上高1兆円の企業集団を目指し新たなスタートをきっております。この目標達成には、既存事業の強化・深耕と次なる“旬”にいち早く対応していくとともにM&Aも視野に入れ、安定かつ継続した成長を達成することが重要と考えております。

現在、当社グループを取り巻く環境は、医療機関の機能分化、地域連携、在宅医療・介護制度の進展など多様性が広がり、大きく変化してきております。また、新興国の経済発展に伴う海外市場への取り組みなど、新たな“旬”と新しいマーケットに応じていくことで、大きな成果を勝ち取れるチャンスが広がっております。一方、競争環境は経済の先行き不透明感を背景にした医療機関の経費削減、経営効率化が進み価格競争など、非常に厳しい状況となっております。

こうした中、当社グループは次なる成長に向けた事業体制の構築に努めており、人材育成を最大の課題としております。誠実で活力に満ち、プロフェッショナルとしての的確な提案を行える人材をOJTや教育・研修を通じて確保・育成してまいります。また、大局的な経営判断と迅速な対応を図るための経営体制の強化、機動的な投資などに備えた財務基盤の整備なども行い、これから必要とされる事業体制の基礎も固め、次なる成長に向けて挑戦してまいります。

株主の皆さまには、今後とも変わらぬご支援・ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

# 動き出す“旬”

## 業績について

### 期初予想を上回る増収増益を達成

当第2四半期の状況としましては、トータルパックプロデュース事業、調剤薬局事業が堅調に推移するとともに、メディカルサプライ事業においても、昨年度M&Aを実施いたしました医療機器・消耗品販売会社の業績が寄与したことなどを受け、売上高は前年同期比14.4%増の1,253億円となりました。また、利益面につきましても、ヘルスケア事業における新規施設やサービス拠点の立ち上げ先行費用の計上があったものの、トータルパックプロデュース事業におきましてプロジェクト案件が順調に推移したことなどから、営業利益が前年同期比19.3%増の57億円となりました。

このような状況の下、通期目標の達成に向けて、一層の営業努力を行ってまいります。

#### ▶▶ 業績結果 (単位：百万円)

	2014/9期初予想 (2014年5月8日発表)	2014/9実績 (当第2四半期)	増減率
売上高	124,000	125,356	1.1% ↑
営業利益	5,000	5,781	15.6% ↑
経常利益	5,400	6,232	15.4% ↑
四半期純利益	3,000	3,193	6.4% ↑

## 事業基盤の整備・拡充

### 総合力アップに向けた取り組みを加速

市場が大きく変化し、新しいチャンスが広がる現在の医療業界において、飛躍を成し遂げていくには人、ノウハウ・技術、ネットワーク、資金などの総合力が重要となります。当社グループはこの総合力アップに向けて、まずはグループ全体、各事業での基礎固めを行っております。

グループ全体の基礎固めについては、財務基盤、グループ連携の強化と同時に、各産業界大手企業とのネットワーク拡充に努めております。また、各事業においては、トータルパックプロデュース事業で、国内事業もさることながら海外での事業展開が本格化する中、海外案件の現場をプロデュースできる人材の確保、メディカルサプライ事業では、医療機関の経営効率化による在庫日数短縮に対応できるジョブフローの整備、調剤薬局事業では、医療機関とのさらなる連携強化、ヘルスケア事業では、運営の最適化を図る現場主義の徹底などに取り組んでおります。このように当社グループは、継続した成長を達成できるよう事業基盤の拡充を図っております。

#### ▶▶ セグメント別基盤整備

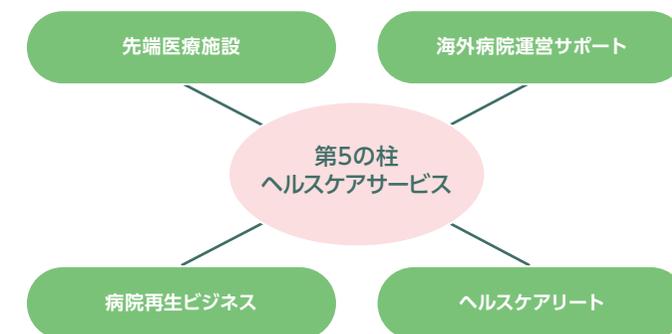


## 新しい取り組み

### 第5の柱を育成

約3年前から基盤づくりを進めております海外市場への進出については、アジアを中心に実績を積み上げてまいりましたが、この度、バングラデシュにおいて現地病院との提携などにより、病院建設・病院運営サポートを行うことを決定いたしました。また、先端医療分野では、既に発表いたしているように重粒子線がん治療施設プロジェクトに構成事業者として参画することも決定いたしました。メーカー系グループ会社では、次々と新製品を開発し、グッドデザイン賞に輝く製品も生まれています。また、ヘルスケアリートの立ち上げなど、当社グループは次の“旬”に向けて精力的な取り組みを行っております。

当社グループは、こうした取り組みを通し現在の4事業に加え第5の柱を育成し、売上高1兆円を目指してまいります。



## 財務基盤の強化に向けた、 公募増資等による資金調達を実施

### 次なる“旬”を見すえた戦略的な投資

当社は、平成26年10月2日開催の取締役会におきまして、新株式発行及び自己株式の処分並びに株式売出しに関する内容を決議し、11月14日現在、そのすべての払い込みが完了いたしました。

調達資金は約216億円となり、同資金を基に1兆円企業に向けて更なるM&A投資、製造拠点設備の拡充、そして第5の柱となるビジネス領域の確立などに努めてまいります。

具体的な資金の使途につきましては、重粒子線がん治療施設プロジェクトに関する新設会社への出資金及び設備投資、バングラデシュ、ミャンマーにおける設備投資を中心として、その他にも国内における介護系及びヘルスケアサービス系施設への設備投資などに充当してまいります。

### ▶▶ 資金調達の概要



### ▶▶ 調達資金の使途



## 重粒子線がん治療施設プロジェクトについて

### 医療の未来を支えるビジネスモデルの確立

#### ▶▶ 事業について

大阪府立成人病センターの建て替えに伴う重粒子線がん治療施設プロジェクトが順調に推移しております。

当プロジェクトは、民間のノウハウを活用しながら、より柔軟な運営が可能となるよう民設民営により施設を整備運営するもので、当社グループも参画を決定した案件です。これまで培ったノウハウを活かし、事業経営から施設の維持管理までトータルでサポートしてまいります。

新施設は、3年後、国内最新鋭の重粒子線施設としてオープン予定となっておりますが、当社グループでは、幅広いがん治療に適用し、より患者に優しい治療を提供する重粒子線がん治療施設などの高度医療サービスを“旬”の医療と捉え、重点的に投資を行ってまいります。

### ▶▶ 事業予定地



#### 重粒子線 がん治療 とは

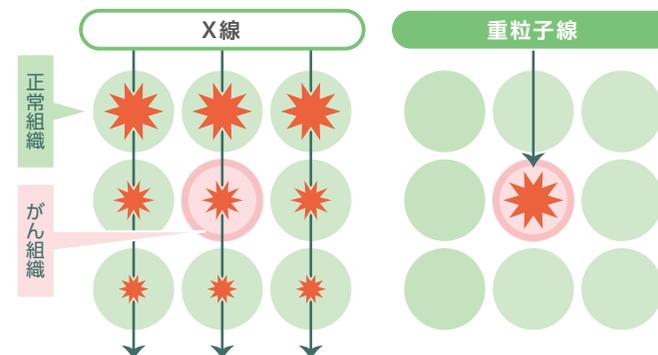
重粒子線がん治療は放射線治療のひとつで、がん病巣のみにピンポイントで照射できるという優れた特徴をもった最先端の治療法です。

#### メリット

- 1 痛みを伴わない
- 2 ご年配の方にも適用できる
- 3 早期なら根治可能
- 4 X線では治療困難な、深部がんにも適用できる
- 5 社会復帰までの期間が短い

### ▶▶ 照射イメージ

従来のX線治療より周辺の器官への影響が少なく、体を切らずに済むため、通院での治療や体力に不安がある方にも優しい技術です。



## ミャンマーで透析センター事業の 運営を開始

## 2014年度グッドデザイン金賞を受賞

## アンケートへの ご協力ありがとうございました。

### 海外における“医療施設の運営”に乗り出す

当社グループが海外展開の基盤とする、ASEAN地域の事業が順調に進行しております。

ミャンマー最大の都市ヤンゴンでは、子会社「GREEN HOSPITAL MYANMAR, LTD.」を設立し透析センター事業の運営を開始いたしました。

具体的な進捗としましては、この8月、設備の整備と患者受入れを開始するとともに、現地の人材トレーニングを開始するなど、「医療施設の運営」に向けて順調に推移しております。

当社グループでは、所得水準の向上で中間層が増え、先端医療へのニーズが高まるとみられる新興諸国において、医療の質の向上に貢献するとともに、そのマーケットを確実に取り込んでまいります。

### ヒトに優しい医療環境をご提案

この度、当社グループメーカー系の(株)セントラルユニ及び酒井医療(株)が(財)日本産業デザイン振興会より、2014年度グッドデザイン賞を受賞いたしました。本賞は暮らしや社会の質を向上させる優れたデザインに贈られるもので、当社グループ全体で5つの製品が受賞いたしました。

なかでも(株)セントラルユニの医療ガス供給設備「uniline(ユニライン)」は、患者の命を維持するために重要なガス供給の安全性と利便性を飛躍的に向上させた新世代のシステムとして、金賞の評価をいただいております。

また、酒井医療(株)の「アクティーモNR」は、リハビリ段階の立位移動補助具として、ベッドから離れた早期活動を実現する新しいコンセプトの製品です。

当社グループでは、今後も美しく使いやすいデザインで、患者と医療従事者双方に優しい製品開発を目指してまいります。

第22期株主通信において株主の皆さまへのアンケートを実施いたしました結果、425名の方々よりご回答を頂戴いたしました(2014年9月30日現在)。ご協力を心より感謝申し上げます。

集計結果や株主の皆さまのお声の一部を、ここにご紹介いたします。

### 当社株式の今後の保有方針をお教えてください。



### 当社経営に関して、何を重視すべきと思われるですか？



### その他様々なご意見の一部

- ヘルスケアリートの拡充を希望します。
- 至誠惻怛の基本精神を高く評価しています。
- 海外展開を益々活発に行ってもらいたい。
- 事業拡大と社会貢献に期待します。
- 株主優待を実施していただきたい。
- 株式分割を希望します。

今回のアンケートにおきましても、株主の皆さまより多くのご意見・ご要望を頂戴いたしました。今後もシブヘルスケアグループへのご理解をより一層深めていただけますようIR活動にも積極的に努めてまいります。アンケートへのご協力、誠にありがとうございました。

### ▶▶ 施設外観



### ▶▶ 透析設備



### ▶▶ uniline (医療ガス供給設備)



### ▶▶ アクティーモNR (立位移動補助具)



### ▶▶ vica (壁掛式吸引器)



▶▶ 連結貸借対照表

	当第2四半期 2014年9月30日現在	前第2四半期 2013年9月30日現在	前 期 2014年3月31日現在
<b>【資産の部】</b>			
<b>流動資産</b>	<b>103,887</b>	<b>81,835</b>	<b>112,959</b>
現金及び預金	19,374	20,229	22,278
受取手形及び売掛金	59,460	41,829	70,955
商品及び製品	8,555	8,397	7,805
仕掛品	2,075	1,830	1,575
その他	14,553	9,651	10,467
貸倒引当金	△ 133	△ 102	△ 122
<b>固定資産</b>	<b>64,046</b>	<b>56,192</b>	<b>60,433</b>
<b>有形固定資産</b>	<b>37,255</b>	<b>29,701</b>	<b>33,176</b>
建物及び構築物(純額)	13,640	8,848	9,521
土地	8,466	8,273	8,455
賃貸不動産(純額)	12,445	8,529	10,922
その他(純額)	2,702	4,049	4,276
<b>無形固定資産</b>	<b>10,861</b>	<b>10,837</b>	<b>11,081</b>
投資その他の資産	15,929	15,654	16,175
<b>資産合計</b>	<b>167,934</b>	<b>138,028</b>	<b>173,393</b>

(単位:百万円)

	当第2四半期 2014年9月30日現在	前第2四半期 2013年9月30日現在	前 期 2014年3月31日現在
<b>【負債の部】</b>			
<b>流動負債</b>	<b>78,516</b>	<b>67,205</b>	<b>97,884</b>
支払手形及び買掛金	58,188	43,771	72,484
短期借入金	890	9,543	6,687
未払法人税等	2,461	1,897	3,927
賞与引当金	1,498	1,401	1,555
その他	15,478	10,591	13,228
<b>固定負債</b>	<b>40,084</b>	<b>29,335</b>	<b>27,887</b>
社債	2,383	3,542	2,650
長期借入金	32,389	21,466	20,245
退職給付引当金	—	1,982	—
退職給付に係る負債	1,845	—	2,038
その他	3,467	2,344	2,953
<b>負債合計</b>	<b>118,601</b>	<b>96,541</b>	<b>125,771</b>
<b>【純資産の部】</b>			
<b>株主資本</b>	<b>47,688</b>	<b>40,323</b>	<b>46,192</b>
資本金	5,855	5,699	5,855
資本剰余金	10,224	10,068	10,224
利益剰余金	33,957	26,905	32,461
自己株式	△ 2,349	△ 2,349	△ 2,349
その他の包括利益累計額	1,141	768	981
少数株主持分	502	395	447
<b>純資産合計</b>	<b>49,332</b>	<b>41,487</b>	<b>47,621</b>
<b>負債純資産合計</b>	<b>167,934</b>	<b>138,028</b>	<b>173,393</b>

▶▶ 連結損益計算書

(単位:百万円)

	当第2四半期 2014年4月1日～ 2014年9月30日	前第2四半期 2013年4月1日～ 2013年9月30日	前 期 2013年4月1日～ 2014年3月31日
売上高	125,356	109,586	259,189
売上原価	109,075	95,365	225,632
売上総利益	16,280	14,221	33,557
販売費及び一般管理費	10,499	9,376	19,699
営業利益	5,781	4,844	13,857
営業外収益	692	684	1,347
営業外費用	240	215	451
経常利益	6,232	5,313	14,754
特別利益	63	4	4
特別損失	304	52	191
税金等調整前四半期(当期)純利益	5,992	5,265	14,567
法人税等合計	2,755	2,271	5,994
少数株主損益調整前四半期(当期)純利益	3,236	2,993	8,573
少数株主利益	43	19	50
<b>四半期(当期)純利益</b>	<b>3,193</b>	<b>2,974</b>	<b>8,523</b>

▶▶ 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	当第2四半期 2014年4月1日～ 2014年9月30日	前第2四半期 2013年4月1日～ 2013年9月30日	前 期 2013年4月1日～ 2014年3月31日
営業活動による キャッシュ・フロー	△ 2,745	2,778	13,796
投資活動による キャッシュ・フロー	△ 5,002	△ 4,302	△ 8,293
財務活動による キャッシュ・フロー	4,650	2,798	△ 2,166
現金及び現金同等物に 係る換算差額	15	55	105
現金及び現金同等物の 増減額(△は減少)	△ 3,081	1,330	3,442
現金及び現金同等物の 期首残高	21,233	17,790	17,790
現金及び現金同等物の 四半期末(期末)残高	18,151	19,121	21,233

## ▶▶ 主な経営指標の推移[日本基準](連結)

(単位: 百万円)

	2012/3	2013/3	2013/9	2014/3	2014/9 当第2四半期	2015/3 (通期予想)
売上高	188,839	224,363	109,586	259,189	125,356	280,000
営業利益	10,132	12,544	4,844	13,857	5,781	14,600
経常利益	11,251	13,589	5,313	14,754	6,232	15,000
四半期(当期)純利益	7,026	8,589	2,974	8,523	3,193	8,800
総資産	129,989	144,389	138,028	173,393	167,934	—
純資産	35,256	42,547	41,487	47,621	49,332	—

## ▶▶ セグメント情報 (2014年4月1日~2014年9月30日)

## トータルパックプロデュース事業

トータルパックプロデュース事業におきましては、大型のプロジェクト案件が当初予定通りに完成したこと等により順調に推移いたしました。また、海外ではミャンマーにおいて子会社を設立し、ヘルスケアサービス事業を開始いたしました。

この結果、売上高は42,910百万円(前年同期比30.3%増)、営業利益は3,949百万円(前年同期比30.8%増)となりました。

## メディカルサプライ事業

メディカルサプライ事業におきましては、償還価格の改定があったものの、在庫管理の見直しにより運用方法を整備するとともに、昨年度に受託したSPD施設や、M&Aにより増加したグループ会社の業績が寄与したこと等から

順調に推移いたしました。

この結果、売上高は61,334百万円(前年同期比9.3%増)、営業利益は1,043百万円(前年同期比24.4%増)となりました。

## ヘルスケア事業

ヘルスケア事業におきましては、7月に有料老人ホーム「グリーンライフ仙台」が開設したことや、食事提供施設の展開が進んだこと等により増収となった一方、新規施設やデイサービス拠点の立ち上げ先行費用を計上したこと等から営業利益は低調に推移いたしました。

この結果、売上高は9,828百万円(前年同期比5.0%増)、営業利益は39百万円(前年同期比85.0%減)となりました。

## 調剤薬局事業

調剤薬局事業におきましては、薬価改定や消費税増税等の影響を受けたものの、新規店舗の開業を進めるとともに、不採算店舗の閉店等による経営効率化を実施したこと等により順調に推移いたしました。

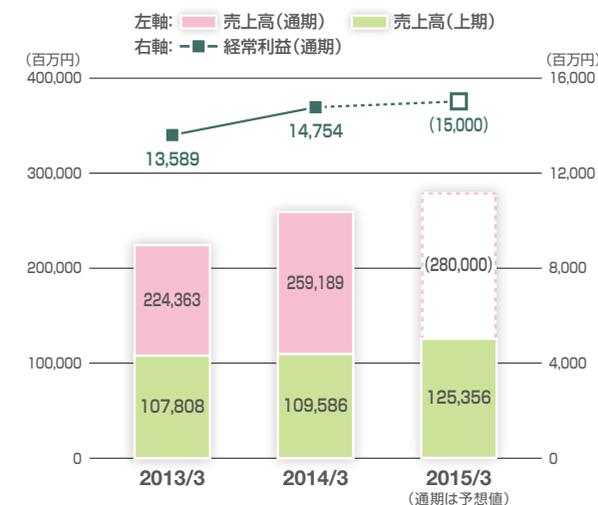
この結果、売上高は10,848百万円(前年同期比1.2%増)、営業利益は834百万円(前年同期比0.4%増)となりました。

## その他

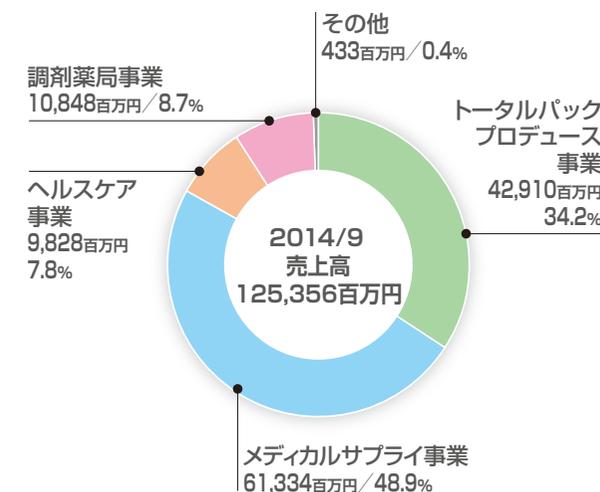
その他におきましては、動物病院事業は計画を下回り推移した一方、理化学機器の販売については計画通り推移いたしました。

この結果、売上高は433百万円(前年同期比0.3%増)、営業利益は54百万円(前年同期比12.4%減)となりました。

## 業績トレンド



## セグメント別売上高構成比(2014/9)



## 会社情報

(2014年9月30日現在)

### ▶▶ 会社概要

商号 シップヘルスケアホールディングス株式会社  
 設立 1992年8月  
 代表取締役会長 (CEO) 古川 國久  
 代表取締役社長 (COO) 小川 宏隆  
 資本金 58億5,552万円  
 決算月 3月  
 従業員数 連結3,750名(正社員)  
 本社所在地 〒565-0853  
 大阪府吹田市春日3丁目20番8号  
 TEL : 06-6369-0130  
 FAX : 06-6369-3191

### ▶▶ 役員

代表取締役会長 (CEO)	古川 國久
代表取締役社長 (COO)	小川 宏隆
代表取締役副社長	大橋 太一
専務取締役	沖本 浩一
専務取締役	小林 宏行
専務取締役	増田 順博
専務取締役	山本 裕司
常務取締役	横山 賢治
常務取締役	細川 義昭
取締役(社外)	和田 元光
常勤監査役(社外)	岩尾 秀志
社外監査役	大山 博康
社外監査役	大内 陽一

お問い合わせ・資料請求等は、下記まで…

シップヘルスケアホールディングス株式会社

〒565-0853 大阪府吹田市春日3丁目20番8号  
 TEL : 06-6369-0130 (IR窓口) FAX : 06-6369-3191

URL (ホームページアドレス)

<http://www.shiphd.co.jp>



## 株式関連情報

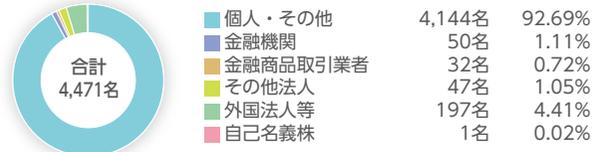
(2014年9月30日現在)

### ▶▶ 株式の状況

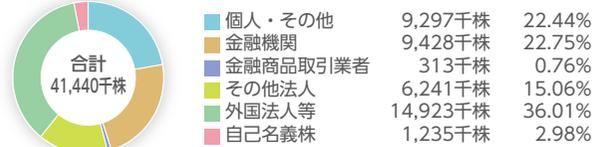
発行可能株式総数.....64,000千株  
 発行済株式総数.....41,440千株  
 株主数.....4,471名

### ▶▶ 株式分布状況

株式分布状況 (株主数別)



株式分布状況 (株式数別)



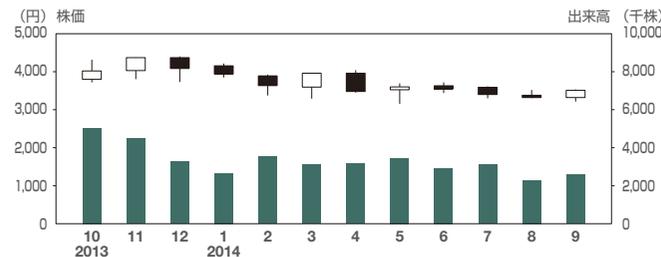
※ 株式数は、千株未満を切り捨てて表示しております。

### ▶▶ 大株主の状況

	[持株数]	[持株比率]
株式会社コッコー	3,988千株	9.92%
NORTHERN TRUST CO. (AVFC) RE 15PCT TREATY ACCOUNT	2,041千株	5.08%
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	1,869千株	4.65%
春日興産合同会社	1,400千株	3.48%
ザ チェース マンハッタン バンク エヌエイ ロンドン エス エル オムニバス アカウト	1,303千株	3.24%
ザ チェース マンハッタン バンク 385036	1,242千株	3.09%
古川國久	1,236千株	3.08%
古川幸一郎	1,230千株	3.06%
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口9)	1,228千株	3.06%
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	1,182千株	2.94%

※ 株式数は、千株未満を切り捨てて表示しております。※ 持株比率は、自己株式を控除して算出しております。

### ▶▶ 株価・出来高の推移

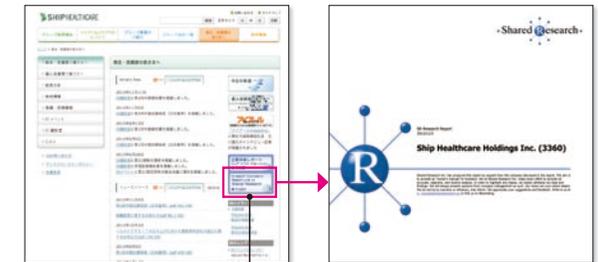


## 株主メモ

事業年度 4月1日～3月31日  
 期末配当金受領 3月31日  
 株主確定日 3月31日  
 定時株主総会 毎年6月中  
 株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社  
 同連絡先 三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部  
 〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号  
 TEL 0120-094-777 (通話料無料)  
 特別口座の口座管理機関 三井住友信託銀行株式会社 (旧 クリーンホスピタルサプライ(株)の株主様)  
 みずほ信託銀行株式会社 (旧 (株) セトラルユニの株主様)  
 同連絡先 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部  
 〒168-0063 東京都杉並区和泉2丁目8番4号  
 みずほ信託銀行株式会社 証券代行部  
 〒168-8507 東京都杉並区和泉2丁目8番4号  
 上場証券取引所 東京証券取引所  
 公告の方法 電子公告により行う  
 公告掲載URL <http://www.shiphd.co.jp>  
 (ただし、電子公告によることが出来ない事故、その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に公告いたします。)

(ご注意)

- 株主様の住所変更、その他各種手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種手続きにつきましては、三井住友信託銀行並びにみずほ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記連絡先にお問い合わせください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。



IR Info ▶ In-depth Company Report Link to Shared Research

### For Foreign Investors

SHIP HEALTHCARE HOLDINGS, INC. provides English financial report produced by Shared Research Inc. Please check [http://www.sharedresearch.jp/en/Ship\\_Healthcare\\_Holdings\(3360\)](http://www.sharedresearch.jp/en/Ship_Healthcare_Holdings(3360)) to view the report.